

## 06-3 飯田下伊那薬剤師会におけるコロナ処方箋の対応について

奥村哲永（ともえ伊賀良薬局）

キーワード：経口治療薬、ラゲブリオ、対応薬局

**要旨：**新型コロナウイルス感染症の治療薬が国内で実用化された場合は、新たな治療の選択肢が増えることが期待される。自宅療養者に適切かつ迅速に必要な治療薬を提供できるよう対応薬局をあらかじめリスト化して経口治療薬を配備する体制を整備する必要がある。当地域では、4薬局を対応薬局として整備。経口治療薬ラゲブリオ発売に伴いラゲブリオ対応薬局13薬局に拡大。そんな中、処方医へのリアルタイムな在庫状況の報告を開始。報告内容は、医師会ホームページにアップされる。2022年1月から9月までの処方実績は累計で1059名となっている。

### A. 目的

2021年11月9日、厚労省の新型コロナウイルス感染症対策推進本部から、薬局における新型コロナウイルス感染症経口治療薬の配分に関わる医薬品提供体制の整備の指針が示された。

今後、新型コロナウイルス感染症の新たな経口治療薬が国内で実用化されれば、新たな治療の選択肢の拡大が期待される。

その際供給量が限られる場合には、安定供給が可能になるまで一般流通は行わず厚労省が所有し、医療機関の処方に基づき必要な患者に配分することが想定される。

特に自宅療養者に対して、外来診療後に院外処方として処方される場合、対象患者に適切かつ迅速に必要な治療薬を提供できるよう地域の医師会、薬剤師会、医薬品卸業者等と連携の上、地域において供給に係る薬局（対応薬局）をあらかじめリスト化し経口治療薬を供給する体制を整備する必要がある。

### B. 方法

当地域では、2021年11月、4薬局を対応薬局として整備。2021年12月に経口治療薬モルヌピラビル（ラゲブリオ® カプセル200mg、以下ラゲブリオとする）が発売となった。

それに伴い対応薬局が当初の4薬局から13薬局に拡大。ただし各薬局の備蓄上限は3個までと定められていた。

当初4つの対応薬局の薬剤師は、処方箋を応需してから患者さん宅に薬剤を配達する上で様々な困難があった。

令和4年2月28日、厚労省からの通達にて、ラ

ゲブリオ対応薬局の内、供給の役割を担う薬局では、ラゲブリオの在庫上限が10個に引き上げられた。それ以外の薬局ではこれまで同様に、3個であった。

その様な状況下で、現場からは、リアルタイムな在庫情報を伝える必要性が叫ばれた。

そこで、2022年2月3日から一般流通が開始される2022年9月16日まで毎日医師会の事務局に在庫報告を行った。報告の内容は医師会ホームページにアップされた。

### C. 結果

北部地域を担当したある薬剤師の対応について紹介する。

2022年1月からラゲブリオの処方が出始めた。医療機関からは電話で事前に配達対応可能かの確認があり。

その後FAXにて処方箋、患者情報、適格性情報、チェックリストが送信される。

チェックリストを確認後、患者さんと連絡を取り、ヒアリングを行い何時頃届けに行くかを伝え、閉局後に患者宅を訪問、対面不可のため薬を玄関先に置き、車に戻ってから電話連絡にて薬を確認してもらい服薬指導を行うという形をとった。

翌日ラゲブリオ登録センターに必要事項を入力するほか、ラゲブリオ処方にあたっての適格性情報調査の報告、配送などの実地状況については県薬剤師会に報告を行った。

当初、薬局の在庫数は3個が上限である上、薬局間の貸し借りもできないなかで苦慮したのがある施設でのクラスター対応である。毎日複数名の処方が出るため、すぐに在庫が足りなくなった。医師に

確認の上、その方の当日と翌朝の2回分はすでに交付した他の方の分を服用してもらい、納品されしだい不足分を届けるという対応が数日続いた。

対応薬局が少ないため、大鹿村まで往復1時間半かけて配達したこともあった。準備が整うのは多くの場合、夕方以降になるため、辺りは暗くナビとマップを頼りに探しても辿り着くのが困難だった。たとえ地図上の目的に着いたとしても表札がなく、家の特定に時間を有する事例が多かった。

ある時患者さんが目印に車種とナンバーを教えてくださいました時は、すぐに家がわかりその後の対応に大いに活かされた。

図表の通り令和4年1月から9月までの各対応薬局の調剤実績は、累計で1059名。(図表参照)表からもわかるとおり8月にピークが見られる。同時に薬局のコロナ対応も多忙を極めた。

**D. 考察**

『地域で在庫出来る数が限られている上、施設などのクラスターも発生し続けている状況下で、治療薬の数量を把握できるのは医師会(登録医)として大変ありがたく感じている。』

『処方した際、薬局側が大変丁寧な対応をしてく

れて本当にありがたく思っている。』

医師会の先生方からこのような言葉を頂けた事で、薬剤師としての役割を果たせたのではないかと感じている。

コロナ禍における薬剤師業務として貴重な体験をする事が出来た。

その後、ゴールデンウィーク前に対応薬局は14薬局に加え一般流通が開始される令和4年9月16日までには15薬局の対応薬局でラゲブリオの処方箋応需。

**E. まとめ**

現在、飯田下伊那地区保険薬局51薬局がラゲブリオを備蓄している。

今後も当地域の新型コロナウイルス感染者に対して治療薬の安定供給を図り、安心安全な薬物療法のため飯田市下伊那薬剤師会としてその薬剤師職能を発揮していきたい。

**F. 利益相反**

利益相反なし。

**G. 文献**

記載事項なし。

図表：令和4年1月から9月までの各対応薬局の調剤実績

国購入品	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	9/16開局時在庫
A薬局	10		2		9	2	15	65	10	113	10
B薬局	20	9	7	9	9	1	24	81	7	167	20
C薬局	2			3	2		13	14		34	5
D薬局			1	4			3	17	17	42	4
E薬局	10	16	20	9	9	4	26	55	13	162	20
F薬局		3		1			10	11	7	32	9
G薬局		1	6	10	8	2	18	48	17	110	9
H薬局	2	9	4	2	2	1	5	42	3	70	10
I薬局				12	7		12	31	32	94	13
J薬局				3	6	1	12	32	8	62	9
K薬局			2	1	6		23	35	6	73	20
L薬局		2		1	3		2	20	10	38	10
M薬局			1	2	13		1	6	21	44	10
N薬局							3	7	2	12	4
O薬局									6	6	14
合計	44	40	43	57	74	11	167	464	159	1059	167